

魚沼市自然環境保全事業

平成 26 年度（2014 年度）  
魚沼市自然環境保全調査報告書

～自然を活かしたまちづくりのための市民参加型調査～

監修：石沢 進／倉重祐二／富永 弘

発行：魚沼市



## はじめに

魚沼市は、自然豊かな市として全国的にみても誇れる都市であろう。尾瀬ヶ原・平ヶ岳・浅草岳・守門岳・荒沢岳・越後三山など、海拔1500mを超える多くの山々があり、それらの山々に発する多くの河川が、佐梨川や破間川を経て魚野川に合流している。市域には、様々な自然環境があつて、多くの生き物の様々な営みが展開されている。河川沿いの複雑な地形の各所に多くの集落があり、魚野川に近い所には街並みも形成され、市民は、生物多様性に富んだ環境の中で生活している。このように自然環境に恵まれた魚沼市であるので、生き物の多様な実態を明らかにしておくことは極めて重要である。

とかく恵まれた環境の中で生活していると、その恩恵を見過ごすことも多いものであるが、住む場所の自然環境の豊かさを認識し、身の周りにどのような生物が生活しているかを明らかにしておくことは大切なことである。そのような認識を基に、魚沼市では2010年以來、里山の動植物の調査を進めてきた。里山は人の生活圏にあるため、人の行為が生物に大きな影響を与えている。里山の環境改変によって、昔から見られた生き物が絶滅することも多い。その一方で、人の営みによって生き残っている生物もある。身の周りにどのような動植物が生息し、どのような変化が起きているかを知ることは、人と他の生き物との良好な関係を維持するための必須条件である。

魚沼市のこれまでの里山における調査によって、鳥類については柳瀬昭彦氏を中心とした小出野鳥の会等の長年にわたる観察から、魚沼市のほぼ全容が把握されているとみられる。また、トンボ類とチョウ類についても、かなりの程度その実態が明らかになったものと思われる。植物についても、45種の絶滅危惧種を含む約900種を確認した。

今後は、これまでの成果を活用して、貴重な動植物の保護や条例制定の検討、特に生物多様性に富んだ地域の保全対策の具体化等も望まれる。これまでの調査は、里山にほぼ限定して短期間に行われたものであり、広大な面積を有する魚沼市では、調査の継続発展と確認された貴重種等の追跡調査が必要である。

2015年3月

魚沼市自然環境保全調査委員会 委員長  
元新潟大学教授 石沢 進



# 目次

口絵	1
1. 調査概要	5
2. 植物調査	9
口絵	11
(1) 調査目的・背景	15
(2) 調査地域の位置	15
(3) 調査方法	16
(4) 調査結果	17
(5) 2014年度植物調査の評価と今後の展望（石沢 進、富永 弘）	19
(6) 植物分布図	25
(7) 参考文献	28
植物目録	29
3. 鳥類調査	51
口絵	53
(1) 調査目的・背景	55
(2) 調査地域の位置	55
(3) 調査方法	56
(4) 調査結果	57
(5) 2014年度鳥類調査の評価と今後の展望（桑原和寿）	58
(6) 参考文献	62
鳥類目録	63
4. 昆虫調査	65
口絵	67
(1) 調査目的・背景	71
(2) 調査地域の位置	71
(3) 調査方法	72
(4) 調査結果	73
(5) 2014年度昆虫調査の評価と今後の展望（横山正樹）	75
(6) 参考文献	81
昆虫目録	82
おわりに（倉重祐二）	87
附. 銀山平予備調査結果	91
口絵	93
(1) 調査概要	95
植物目録	96
鳥類目録	100
昆虫目録	101



## 植物調査地

### 鳥屋ヶ峰



調査地の状況 2014. 7



調査の様子 2014. 5

### 根小屋遊歩道

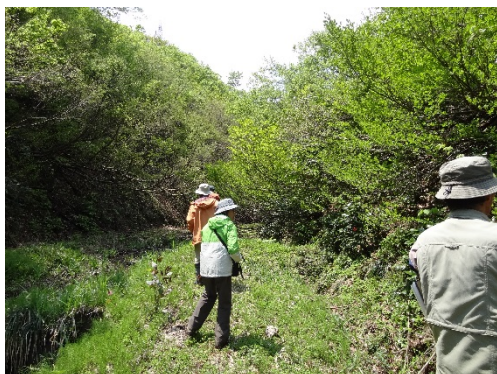


調査地の状況 2014. 5



調査の様子 2014. 7

### 枳原峠



調査地の状況 2014. 5



調査の様子 2014. 7

## 松川林道



調査地の状況 2014. 7



調査の様子 2014. 6

## 日付川



調査地の状況 2014. 10



調査の様子 2014. 5

## 板木遊歩道



調査地の状況 2014. 5



調査の様子 2014. 10



## 鳥類調査地

### こまみの湯周辺



探鳥会の様子 2014. 5

### 杉ノ入沢



探鳥会の様子 2014. 5

### 鏡が池周辺



探鳥会の様子 2014. 5

### 魚野川周辺



探鳥会の様子 2015. 2

## 昆虫調査地

### 響きの森公園周辺



調査の様子 2014. 7

### こまみの湯周辺



調査の様子 2014. 9

### 根小屋



調査地の状況 2014. 8



調査の様子 2014. 8

### 福山新田



調査の様子 2014. 5

### 中峯スポーツ広場周辺



調査の様子 2014. 5

# 1. 調査概要

## (1) 調査概要

### 1) 調査の目的

魚沼市では、魚沼市総合計画及び魚沼市環境基本計画の中で掲げている基本目標「色とりどりの四季と人が共生するまちづくり」を実現するための施策の一環として、市内の動植物の生息状況を調査することで自然環境の特性を明らかにし、その調査結果を、自然環境を柱としたまちづくりに活用することを目的に、2011年度から魚沼市自然環境保全調査事業を実施してきている。

2014年度は、2013年度に引き続き、里地里山を中心とした植物や鳥類、昆虫の生息状況を明らかにすることを目的として調査を実施した。

また、調査の過程で、市民啓発を行うことも目的として本事業を実施した。

### 2) 実施方法

2014年度については、2013年度調査と同様に里地里山における植物、鳥類、昆虫の生息状況について調査を行った。調査地は、植物調査は2013年度に調査した6か所を引き続き調査し、調査精度の向上を図った。鳥類調査は4か所、昆虫調査は5か所で調査を実施した（調査箇所は図1-1参照）。

2014年度調査については、特定非営利活動法人野外教育学修センター魚沼伝習館に委託することにより実施した。調査にあたっては、これまでと同様に、意識啓発を図るために、市民から調査ボランティアを募って調査を実施した。また、現地調査や観察会、標本整理等について、魚沼自然大学や小出野鳥の会、魚沼昆虫同好会からも協力を得ながら実施した。調査を実施する際、観察会を兼ねて実施するなど、参加者に対する啓発活動も行った。

調査員及びボランティアの参加者数は延べ217人、調査日数は延べ65日の実施であった。

### 3) 調査結果

2014年度調査では、植物は644種、鳥類は60種、昆虫は94種（トンボ類42種、チョウ類52種）を確認することができた。それぞれの結果の詳細は、分野ごとに後述する。

## (2) 魚沼市の概要

魚沼市は、新潟県の南東部にあり、福島県、群馬県と接している。面積は946.93k m<sup>2</sup>で、そのうち84%が森林である。人工林の割合は約8%と低く、大部分がブナやミズナラを中心とした落葉広葉樹林で占められている。

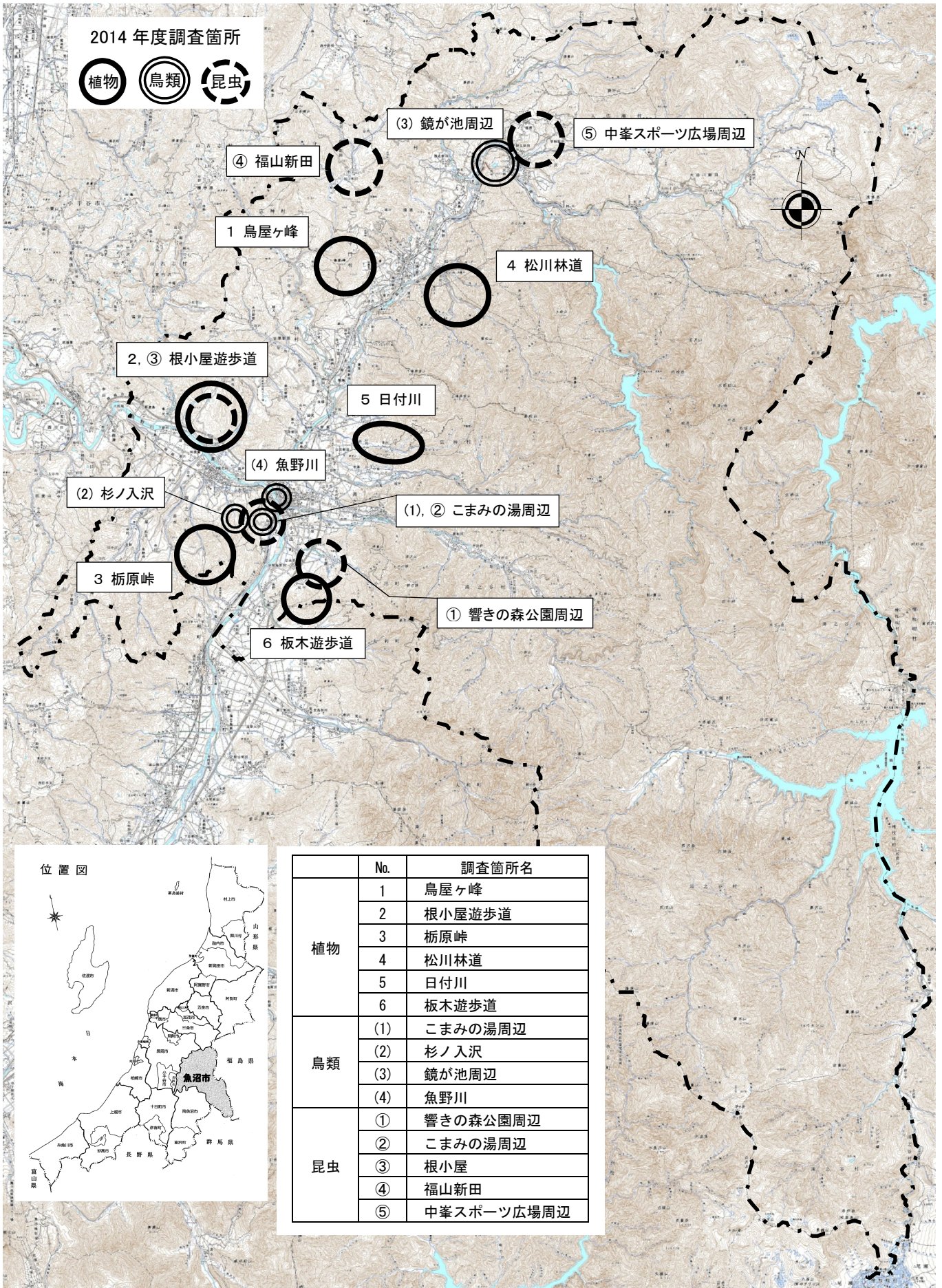
地形は、西を緩やかな魚沼丘陵と東山丘陵、東を急峻な越後山脈に挟まれた盆地を形成し、最低点は標高74m、最高点は2,141mと、高低差2,067mの変化に富んだ地形である。主な河川は魚野川と、その支流である破間川や佐梨川、羽根川などであり、多くの河川によって平地や段丘、扇状地などが形成されている。

本市には北北東－南南西方向に新発田－小出構造線が走っており、これを境に東西で大きく地質が異なっている。

また、本市の気候は典型的な日本海型気候であり、夏は高温多湿で、冬は市街地でも3mを越える積雪に覆われる豪雪地帯である。気象庁アメダス観測所の平年値は、小出観測所では年平均気温12.1℃、年間降水量2,544mm、守門観測所では、年平均気温11.1℃、年間降水量3,050mmとなっている（表1-1）。

表 1-1 魚沼市の気象データ（気象庁アメダス観測所、平年値）

観測所名		1月	8月	年間
小出	平均気温	0.1℃	25.6℃	12.1℃
	降水量	370mm	161mm	2,544mm
守門	平均気温	-0.5℃	24.3℃	11.1℃
	降水量	468mm	192mm	3,050mm



国土地理院の数値地図 25000 (地図画像)「新潟」、「日光」、「長岡」、「高田」を掲載

図 1-1 魚沼市自然環境保全調査事業 調査箇所図

